

2. 指標設定

成果指標	指標名	食育の推進		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			食育計画に基づき、食育を推進するための事業を充実させていく			
活動指標	指標	a	食生活改善推進員数 (単年度)	b	講習会の開催回数	c		d
	数値	目標	5年間で50人会員を増やす(1年に10人)	目標	120回	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
食育の推進		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 食生活改善推進員数(単年度)	人	18人 160.0%	18人 196.0%	14人 224.0%
b 講習会の開催回数	回	137回 114.2%	145回 120.8%	128回 106.7%
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
H26年3月に第2次食育推進計画を策定。これまで以上に食育の市民に対する啓発が必要である。
対応（改善点等）
第2次食育推進計画概要版を活用しながら食育に関する啓発の実施、さらにまちづくりや農業、教育関係機関や他機関との連携を図る。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

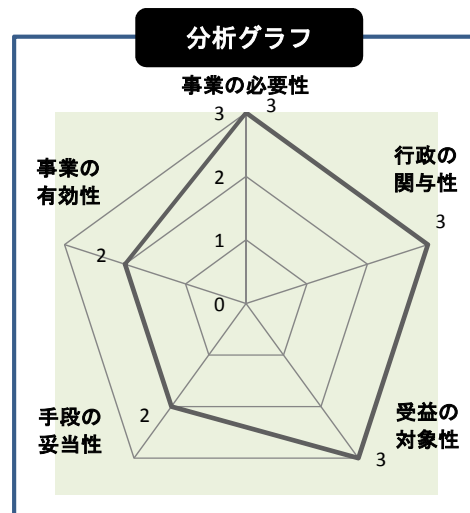
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		1,279	866	877	677
財源内訳	国費				
	県費	411			
	市債				
	その他				
	一般財源	868	866	877	677
うち経常		868	866	877	677
事業費に係る人件費		2,150	2,576	2,179	8,250
事業費に係る人役		0.50	0.60	0.50	1.86

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
H26年3月に第2次食育推進計画を策定した。今後は、食育を市民運動として定着させることを目標に、他機関とも連携を図り住民組織活動を活用した事業を推進する方向である。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の食育推進計画に沿って今後も取り組む必要性が高い事業。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 国の食育基本法に従い、豊後大野市食育推進計画を策定、H26年3月に第2次計画を策定。今後、これを基に食育推進を図る。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 全市民を対象に啓発活動を進めているため。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 推進員を養成し講習会を開催してきたが、食育を地域に普及している。今後も養成や地域活動が必要。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 今後も関係課と連携し、住民組織を活用しながら事業の推進が必要。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	第2次食育計画に基づき、住民組織、関係機関との連携を図り、効果的な事業実施に努めること。